

頑張る卒業生



Vol.6 前田あすかさん

2019年3月演奏学科声楽専修卒業

2020年3月音楽専攻科声楽専攻修了

前田さんは音楽専攻科を修了後渡欧し、現在もスロバキア国立バンスカ・ビストリツア芸術アカデミーで修士課程で研鑽を積まれています。

お住まいはスロバキアの首都である Bratislava。ウィーンへはバスで約1時間、ハンガリーやチェコにも電車で約1～2時間という恵まれた環境です。大学院は Bratislava から東の方角に電車で約3時間半の Banska Bystrica という町にあるとのこと。声楽のレッスンは Bratislava で受けられるため、大学院には週2～3回、オペラや室内楽のレッスンのために通われています。哲学や音楽美学、声楽解釈の授業などの講義はコロナウイルスの影響によりオンラインで受講されているそうです。留学1年目は毎日の生活や大学院での勉強などについていくことに必死だった、という前田さんは、2年目からはコンクールやオーディションに挑戦。そして、現在指導を受けている先生の勧めで初めて受けたコンクール International Dvorak singing competition (チェコ Karlovy Vary にて開催) で、ファイナリストに選ばれました。その後、国立オペラのコーラス補欠オーディションに合格、さらに State opera のコーラスのオーディションを受けた際にソロパフォーマンスのオーディションを受けてはどうかとの誘いを受けるなど、修了演奏会を終えた今も多忙な毎日を過ごされています。

～前田あすかさんのコメント～

日本でコンクールを受けた時は1次予選、2次予選、3次予選と、それぞれの予選の間隔が空いていた印象がありますが、このコンクールは1週間の間で全てのラウンドが行われ、私はブラームス、ドヴォルザークの歌曲と、モーツァルト、ドヴォルザーク、スメタナ、プッチーニのアリアを歌いました。私にとって一週間集中力を持続させることは非常に難しかったです。そうした中、現地で知り合った歌手たちと話し、彼らの演奏を聴くことで良い刺激を多く受けました。今回は最終ラウンドまで進みましたが、入賞することはできませんでした。しかし、今できるベストを尽くしたので後悔はありません。

ここで勉強できるのは、家族、そして、日本やスロバキアで出会った方々に支えていただいているからです。時には悔しかったり辛かったり、といった気持ちになりますが、それ以上に幸せな瞬間がたくさんあります。これからも感謝の気持ちを忘れずに、挑戦し続けます！

